

# 市政運営方針

## 令和の新時代につながる転換の年に！

条例や令和2年度の予算などを審議する3月市議会定例会が2月28日に開会。山崎善也市長はこの日、新年度の市政運営方針を述べました。



所信を述べる山崎市長＝2月28日、本会議で



昨年11月に西八田小学校で行われた田楽学校。移住者のアイデアが地域を動かしています

### 10年間の総仕上げ

令和2年度は、市制施行70年の節目の年であり、人間であれば、古希と称される年齢に当たります。この綾部を、さらに伸展させて次の世代に引き継いでいかねばならないという重責を痛感しています。

市長に就任して10年。この間「医」「職」「住」「教育」「情報発信」をキーワードに「住んでよかった」ゆつたりやすらぎの田園都市・綾部」を将来都市像とする、第5次総合計画に基づき、各種施策を推し進めてきたところです。今年度は、いよいよその最終年、総仕上げの年となります。

**定住促進し持続可能性確保**  
本市は、市制施行時に約5万4千人あった人口が、約3万2千人まで減少。出生数も今年度は200人を切る見込みで、少子高齢化と人口減少が待たなしの状況になっています。  
一方で、地方へ移住する田園回帰の流れが年々大きくなり、本市は定住促進を最重要課題の一つに位置付け、条例も定める中で、他市に先駆けて交流から定住につながる取り組みを進めてきました。  
定住サポート総合窓口を経由した本市への定住人口は、令和2年1月末時点で計236世帯、572人。定住者は人口増としての数の側面だけでなく、地域の持続可能性を生み出すプレイヤーとして活躍していただいております。大変心強く思っています。

### 将来見据え計画を策定

これまで「地域クラスター戦略」と位置付けた旧村単位での地域振興と、まちなかのコンパクト化の取り組みを同

時に展開しました。綾部駅の周辺に、北部産業創造センターやあやべ・日東精工エリアを整備。あやべグンゼスクエアなどの既存施設や民間の住宅整備と連動した、新たなにぎわいも生まれつつあります。  
この流れを確かなものとするため、駅周辺を中心とする市街地全体の効果的な土地利用や公共施設の最適配置を進める必要があります。そのため、今後、将来を見据えた土地利用の青写真を描く立地適正化計画と、公共施設個別施設計画を策定。新図書館やコンベンションホールなどの整備に向けた新たな取り組みや旧施設移転跡地の有効活用方策等について検討します。

また、「麒麟がくる」の放映により、この地域が注目されています。東部地域観光をはじめ、海の京都、森の京都の誘客活動との相乗効果による、観光振興を期待しています。  
「次世代に夢つなぐ」幕末に活躍した吉田松陰は「夢なき者に成功なし」との言葉を遺しています。成功するためには、適切な計画に基づいた実行が必要。その計画を立てるためには目標とする理想が必要であり、理想を語るためには、こうありたいという夢が最初にあるという意味だと解釈しています。

令和2年度は、今後10年間のまちづくりの方向性、目標を定める第6次総合計画も策定します。計画策定に向けて、提言やアンケート、ワークショップなどを通じて、市民の皆さんから多くの要望や意見をいただきました。ここに住まう3万2千人の市民それぞれに生活があり、この綾部市が存在していると考えるとき、すべての人が幸せで安らかな生活を維持し続けることができるよう、そしてそれぞれの夢や希望が実現できるような施策の推進が求められていると感じています。

### 緊縮財政でも課題先送りせず

一昨年の7月豪雨災害の爪痕は深く、令和2年度も緊縮財政を余儀なくされます。しかし、その中であつても、3

月補正と新年度予算を一体的に編成。安全・安心、少子高齢化、産業振興、農村集落活性化、まちなかの再生など、喫緊の課題に対応する施策に重点的に配分する予算案としています。  
私は昨年5月から京都市市長会の会長を務めています。本市の会で解決できない府内共通の課題の解決には、同会の重要性が増しています。国の動向を注視しつつ、同会の会長職にも注力します。  
**節目の年をオール綾部で！**  
先に述べたように本年は市制施行70周年を迎えます。加えて、世界連邦都市宣言70周年や環境市民会議設立20周年、パラ園開設10周年という記念すべき年です。また、東京オリンピック・パラリンピック開催に先立ち、5月に聖火リレーが56年ぶりに本市を走り抜けます。  
数多くの課題も市民の皆さんと一緒に、オール綾部で取り組めば、綾部の未来には必ずや希望があり、道は拓けると確信しています。



10年を123回のふれあい出張市長室を開催。市民の声に耳を傾けてきました



綾部市未来まちづくり市民ワークショップには多くの市民が参加し熱心に議論



駅周辺を中心としたまちなかの整備を検討

### 次世代に夢つなぐ

幕末に活躍した吉田松陰は「夢なき者に成功なし」との

# 東京2020オリンピック 聖火が再び綾部市に

7月24日～8月9日に開催される東京2020オリンピック。開会前に全国各地を回る聖火リレーのコースに本市が選ばれ、このほど出発・到着時間が発表されました。

## 5月26日に本市を通過

オリンピック発祥の地、ギリシャ・オリンピック市から開催地の東京までつなげる聖火

リレー。国内では3月26日(木)に福島県からスタートし、12月1日間で859市区町村を巡ります。

府内16市町を通るルートは、5月26日(火)に京丹後市からスタートし、翌27日(水)に京都市へ到着します。本市では26日午後1時49分にJR綾部駅南口(駅前通り)を出発し、午後2時15分に市民センター



【聖火リレーコース詳細】  
午後1時49分、JR綾部駅南口出発→川条交差点左折→青野交差点左折→午後2時15分、市民センター到着

(西町三丁目)に到着。約2キロを10人程度が聖火をつなぎ、市内を走行します。  
**56年ぶりに訪れる聖火**

1964(昭和39)年以來、56年ぶりに日本で行われるオリンピック。前回の聖火リレーコースにも本市が選ばれ、福知山市との境(高津町)から市役所前を通り、舞鶴市へリレーしました。今回は多くの人が見に行ける▽安全で確実に実施できる▽地域が国内外に誇る場所▽などの条件を踏まえて組織委員会が選定。再び聖火が本市を駆け抜けます。

## コース周辺を通行規制

リレー当日は、JR綾部駅南口のロータリーを含むコース周辺で、通行規制を行います。詳しくは市ホームページなどで確認するか、文化・スポーツ振興課(42)4356へお問い合わせください。規制に伴い、近隣にお住まいの人や商業施設の皆さんにご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

# 友好都市20周年 エルサレム通信

本市とエルサレム市が友好都市を宣言してから、本年で20年の節目を迎えました。今回は、エルサレムからのお便りを紹介します。

## 和平事業などで交流重ねる

市は平成12年2月9日、西町一丁目のI・Tビルで約200人が見守る中、友好都市宣言署名式Ⅱ写真右下Ⅱを行いました。同宣言は、日本初の世界連邦都市宣言をした本市とエルサレム市が、世界の恒久平和の実現を目指し努力することを約束したものです。

市は平成15年に「中東和平プロジェクト」を日本で初めて開催。以降、日本各地で延べ12回にわたり、和平に向けた交流事業を進めてきました。平成29年度には、山崎善也市長が同市を訪問し、ニール・バルカット市長(当時)と面会。今後の友好について再確認しました。

皆さんこんにちは。私は昨年、中東和平プロジェクトで綾部市を訪れ、ホストファミリーをはじめ、皆さんがとても親切だったことを覚えています。このプロジェクトはとてもユニークな取り組みです。紛争の緊張感から解放された日本という中立な場所で、パレスチナの参加者と会い、より開かれた対話ができました。私にとって、一生に一度の特別な経験になりました。



2019年中東和平プロジェクトin綾部の参加者  
アヤ・ラフトさん



右の写真は、エルサレム市にある、芸術家が造った木製のモニュメントです。左の写真は、エルサレム市内で開催されたパレードです。世界中から多くの人が参加しました。



イスラエル大使も立ち会う中、宣言書に署名する四方八洲男前市長(当時)

# 令和2年度 国保料、据え置き

市は2月10日、令和2年度の国民健康保険(以下、国保)の運営について、市国民健康保険運営協議会(木下芳信会長)から答申を受けました。1人当たりの国保料は据え置きで、関連予算案を3月市議会定例会に提出しています。

## 医療費増加で厳しい運営

国保とは、安心して医療が受けられるよう加入者が保険料を出し合い、負担を軽減する互助制度です。近年、加入者が減り収入が減少。一方、医療費の出費は年々増加し、収入を補うため、国保準備基金(貯金)を活用して保険料を据え置き、府内最低額を維持しています。

## 年一回必ず健診の受診を

市の国保では、40歳以上の加入者を対象に、病気の早期



発見や健康増進のため、特定健診・特定保健指導を実施しています。年に一度必ず受診してください。また、人間ドック総合健康診断補助や糖尿病性腎症重症化予防など、さまざまな保健事業も行っています。自分の健康状態の把握や生活習慣を見直す機会として、ぜひ活用ください。



## 善聞 語録

121

## 合成の誤謬

「合成の誤謬」とは、何かの問題解決にあたり一人一人が正しいとされる行動をしても、全員が同じ行動をとると、想定とは逆に思わぬ悪い結果を招いてしまうことを指す経済用語である。

代表的な例として使われるのが家計の貯蓄で、各家庭が消費を減らして貯蓄に回すと、経済全体が縮小し不景気になり貯蓄を取り崩さざるを得なくなるという。

なるほど世の中には、優秀な人を集めすぎるほど組織はダメになるとか、道路を造りすぎると渋滞が余計に激しくなるとか、安全性の高いシステムを導入するほど問題発生時に被害が大

きくなるのか、暇な人に仕事を頼むとかえって時間が掛かるのか…確かに合成の誤謬を身近に実感することはある。野球場で一人だけ立ち上がればよく見えるが、全員立ってしまうと見えなくなる…といった経験などお持ちであろう。要は物事を決める際には大局観が必要で、木を見て森を見ない状況への警鐘であり、鳥の如く世の中を俯瞰し、魚の如く時代の流れを読む「眼力」の大切さを説いている。

しかしながら森は一本、一本の木で合成された集合体であり、その木一本が枯れ朽ち果てるならば、やがて森が消滅する。「まっしろ」市民一人一人とその暮らし、生業の集合体である。蓋し行政は、「個の幸せ」に合成の誤謬を生じさせないような営みを「是」としてこそ、その存在意義が際立つのではないか。鳥、魚の眼に加え、地に足の着いた虫の眼が必要なのは言うまでもない。

山崎善也(綾部市長)

## ロボットって楽しい!

市と府、京都工芸繊維大学は2月23日、青野町の北部産業創造センターで「ロボットサミット2020」を開催しました。市内外の小・中学生や高校生など66人が参加。同大学の東善之助教からロボットの歴史などを学んだ後、さまざまなロボットの操作や消火訓練用VR（仮想現実）を体験。「難しいけど面白い」「もう1回やりたい」と声が上がっていました。最後に、NHK学生ロボコン出場機の操作実演を見学しました。



## 森の恵みをいただきます

位田町の綾部ふれあい牧場は2月23日、森の恵みのお祭りを開催しました。会場では、イノシシの丸焼きやしし汁、シカ肉のジャーキーなどのジビエ料理を、多くの家族連れらが森の恵みに感謝しながら味わいました。また昨年にかけて、鷹匠による実演と展示も開催。間近で見るハブササやミミズクなどを、熱心に撮影する来場者も見られました。



## 体験通じて障害への理解深める



西八田小学校は2月27日、3、4年生29人を対象に障害者理解教育を実施。府視覚障害者協会綾部支部の白木剛さんとガイドヘルパーの西村桂子さんから、外出時の介助の方法などを教わりました。児童は、アイマスク装着とガイド役の両方を体験。「アイマスクをすると何も見えなくて怖かった。自分に見えるものが、相手には見えていないことを考えながらガイドした」と、視覚障害のある人への手助けについて理解を深めました。



段があるよ

## 2月号のお詫びと訂正

小藪未歩さん  
(天神町・富山市在住、学生)



本紙2月号「情報すくらんぶる」に掲載した写真に誤りがありました。ご本人やご家族、関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

3月号の「防災クイズ」は、インフォメーション9面に掲載します。

# 入賞作品決定 令和元年度 あやべ観光デジタルフォトコンクール

## 特選



綾部商工会議所賞  
花のトンネル 阪本明義 (舞鶴市)



綾部市文化協会賞  
静寂の境内 野々垣泰輝 (並松町)



京都新聞賞  
数十万年の時間 松岡秀雄 (舞鶴市)



あやべ市民新聞社賞  
里山ルミナリエ 温井ヒロシ (陸寄町)



京都府観光連盟賞  
夕闇の梅林 木崎 誠 (福知山市)



## 大賞

綾部市長賞

由良川演花彩

築山 忠則 (京丹波町)

市観光協会(平野止明会長)は「輝くあやべ・再発見」をテーマにデジタルフォトコンクールを開催し、このほど入賞者を発表しました。大賞はあやべ水無月まつりの鮮やかな花火を写した、築山忠則さん(京丹波町)の作品です。

## 市内外から245点集まる

本市の豊かな自然や文化などの魅力の発信を目的に開催する同コンクール。応募作品245点から大賞1点、特選5点、入選11点が選ばれました。大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです(順不同、敬称略)。

梅原隆(上野町)▽鈴木隆(岡町)▽細川洋子(西町三丁目)▽山口健治(青野町)▽穂理忠則(福知山市)▽夜久昇司(同)▽井関大地(舞鶴市)▽松岡秀雄(同)▽小倉正紀(宮津市)▽築山忠則(京丹波町)▽立入正浩(京都市)。入選作品は3月19日(木)から4月8日(水)まで、あやべ観光案内所(駅前通り)で展示。以降、市内各所で約1か月ごとに巡回展示します。